

〈レタス〉 ネコフセンチュウ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
DC油剤	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	1)全面処理:耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2)作条処理:は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
D-D	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	1)全面処理:耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2)作条処理:は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
テロン	I:8A	作付の10～15日前まで	1回	1)全面処理:耕起整地後、縦横30cm間隔の基盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。2)作条処理:は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。

〈レタス〉 ナメクジ類

1. ナメクジ類・カタツムリ類の防除対策の項を参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
バダンSG水溶剤	I:14/F:U19(U)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫14日前まで	2回以内	散布
マイキラーL		収穫14日前まで	3回以内	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫7日前まで	2回以内	散布
ナメクリーン3		収穫14日前まで	2回以内	株元散布

〈レタス〉 アブラムシ類

1. は種床、仮植床では防虫網を張る。また、シルバーストライプポリ、シルバーポリにより有翅アブラムシの飛来を防ぐ。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アグロリン乳剤	I:3A	収穫7日前まで	5回以内	散布
ウララDF	I:29	収穫前日まで	2回以内	散布
セフィーナDC	I:9D	収穫前日まで	2回以内	散布
トランスフォームフロアブル	I:4C	収穫前日まで	3回以内	散布
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫14日前まで	2回以内	散布
モバントフロアブル	I:23	収穫7日前まで	3回以内	散布
アドマイヤー1粒剤	I:4A	育苗期後半	1回	株元散布
ダントツ粒剤	I:4A	育苗期後半	1回	株元処理
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
エコピタ液剤 ※2		収穫前日まで	-	散布
サンクリスタル乳剤 ※4		収穫前日まで	-	散布
フーモン ※1		収穫前日まで	-	散布
ムシラップ ※1		収穫前日まで	-	散布
粘着くん液剤 ※1		収穫前日まで	-	散布
オレート液剤 ※3	H:0	発生初期～収穫前日	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(いちごを除く)」の登録薬剤

※4 上位作物群「野菜類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)」の登録薬剤

〈レタス〉 ハモグリバエ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布

バダンSG水溶剤	I:14/F:U19(U)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ブレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	定植前まで	1回	灌注
ブレバゾンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注

〈レタス〉 ナモグリバエ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
コテツフロアブル	I:13	収穫前日まで	2回以内	散布
ダントツ水溶剤	I:4A	収穫前日まで	2回以内	散布
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫14日前まで	2回以内	散布
プレオフロアブル	I:UN	収穫7日前まで	2回以内	散布
モスピラン粒剤	I:4A	定植前日～定植当日	1回	株元散布
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注

〈レタス〉 ヨトウムシ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
オルトラン水和剤	I:1B	収穫30日前まで	3回以内	散布
コテツフロアブル	I:13	収穫前日まで	2回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	収穫3日前まで	3回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
ブレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ブレバゾンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
エスマルクDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
バシレックス水和剤 ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
チューンアップ顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

〈レタス〉 ハスモンヨトウ

1. ハスモンヨトウは9月～10月に多発する。

2. 幼虫の齢期が進むと薬剤に対する抵抗力が強くなるので早期発見、早期防除に努める。

3. ビニールの障壁を設けたり、溝を掘るなどして幼虫の侵入を防止する。

4. 老齢幼虫は捕殺に努める。

5. 黄色灯の利用により、発生を軽減できる。Web版のPDFファイル（物理的防除法）を参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アタブロン乳剤	I:15	収穫3日前まで	2回以内	散布
アフーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
ノーモルト乳剤	I:15	収穫3日前まで	2回以内	散布
ファルコンフロアブル	I:18	収穫3日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレオフロアブル	I:UN	収穫7日前まで	2回以内	散布
ブレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ブレバゾンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
デルフィン顆粒水和剤 ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
バシレックス水和剤 ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
-------------	-------	-----------------	---	----

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

〈レタス〉 ネキリムシ類

1. 定植前は、ほ場雑草で生活している中老齢幼虫による被害が多いので、ほ場やその周辺の除草に努める。

2. 幼虫は被害株の周辺に潜入しているため、捕殺する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダイアジノン粒剤5	I:1B	は種時又は定植時	2回以内	土壌表面散布
ガードバイトA	I:3A	生育初期	5回以内	株元散布
カルホス微粒剤F	I:1B	は種時又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌混和
フォース粒剤	I:3A	定植前	1回	処理 全面土壌混和

〈レタス〉 オオタバコガ

1. オオタバコガの成虫は9月下旬～11月下旬に多発する。

2. 幼虫の齢期が進むと殺虫効果が落ちるので、老熟幼虫は捕殺する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
カスケード乳剤	I:15	収穫3日前まで	3回以内	散布
コテツフロアブル	I:13	収穫前日まで	2回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	収穫3日前まで	3回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
ブレオフロアブル	I:UN	収穫7日前まで	2回以内	散布
プレバゾンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
マトリックフロアブル	I:18	収穫7日前まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
プレバゾンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
エスマルクDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
トアローフロアブルCT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
チューンアップ顆粒水和剤	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
※3				
デルフィン顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

〈レタス〉 菌核病

1. トンネル栽培では換気に留意し、ビニールマルチをする。

2. 冬どりレタスでは12月～1月に発生が多い。

3. 発病株は早期発見に努め、抜き取り処分する。

4. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエツフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
スミレックス水和剤	F:2(E3)	収穫7日前まで	5回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ベンレート水和剤	F:1(B1)	収穫14日前まで	4回以内	散布
ロブラル水和剤	F:2(E3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	育苗期後半～定植当日	1回	灌注

〈レタス〉 すそ枯病

1. すそ枯病の病原菌は苗立枯病と同一で本ほで発生するとすそ枯病という。

2. 年内どりで、秋期が高温の年に発生が多い。

3. 根が土中に残ると伝染源となるので、発病株は根を含めて掘り取り処分する。

4. 水田裏作地帯では苗からの病菌の持ち込みが主体であるため、苗床での苗立枯病の防除を徹底して行う。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエツフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布

アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫3日前まで	3回以内	散布
モンカットフロアブル40	F:7(C2)	収穫7日前まで	3回以内	散布
リブレックス水和剤	F:14(F3)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
キルパー	I:8F	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
モンガリット粒剤	F:3(G1)	定植前	1回	全面土壌混和
フロンサイドSC	F:29(C5)	定植前	1回	全面散布土壌混和
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する

〈レタス〉 軟腐病

1. 年内どりで、秋期が高温の年に発生が多い。
2. 茎のずい部に発生する場合が多いので薬剤散布は株の地際部を重点に行う。
3. 発病は場や低湿地ではイネ科作物のような発病しにくいものと輪作する。
4. ナメクジなどの害虫の被害を受けないようにする。
5. 発病株は早期に見つけ、抜き取る。
6. 野菜類の軟腐病の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カセット水和剤	F:24(D3)・F:31(A4)	収穫7日前まで	2回以内	散布
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫7日前まで	2回以内	散布
ドキンフロアブル	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ICボルドー66D ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

〈レタス〉 灰色かび病

1. ビニール被覆後は過湿にならないように換気を十分行い病葉をつみとるか、病株を早めに抜き取る。
2. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。
3. 野菜類の灰色かび病の項も参照する。
4. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
ゲッター水和剤	F:1(B1)・F:10(B2)	収穫7日前まで	2回以内	散布
スミレックス水和剤	F:2(E3)	収穫7日前まで	5回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ベンレート水和剤	F:1(B1)	収穫14日前まで	4回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫14日前まで	3回以内	散布

〈レタス〉 斑点細菌病

1. 育苗期間中は強い雨に当てない。
2. 本ばは排水の良い場所を選ぶ。
3. 凍霜害やその他の傷を受けないよう管理する。
4. 発育初期の発病株は抜き取り焼きすてる。
5. 無機銅はレタスの品種、生育ステージ、散布濃度散布回数によって薬害がでることがあるので注意する。
6. オリゼメート粒剤は使用方法を誤ると葉が黄化したり、生育が遅延することがあるので注意する。
7. 野菜類の斑点細菌病の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
銅シン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
カセット水和剤	F:24(D3)・F:31(A4)	収穫7日前まで	2回以内	散布
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫7日前まで	2回以内	散布
オリゼメート粒剤	F:P02(P2)	定植時	1回	土壌混和
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

<レタス> ビッグベイン病

1. ビッグベイン病の病原ウイルスは土壌中のオルピディウム菌により媒介される。
2. 発病の適温は17～18℃である。
3. 発病株を抜き取る場合、根についた土壌が飛び散らないように注意する。
4. いったん発病したらその地域からの苗、土壌の移動はしない。
5. 抵抗性品種が利用できる。
6. 侵入防止対策 1)本病はレタス、サラダナ以外には発病しないが、媒介菌のオルピディウムは各種作物の根に寄生するので、本病の発病ほ場では農作物の育苗を避け、未発病地への伝播を防ぐ。2)本病の発病ほ場で使用した農機具は十分水洗いし、ケミクロンG1000倍液に10分間浸漬し、消毒する。
7. 発病地における防除対策 1)発病株はすみやかに根部ごと抜き取り、根のまわりの土壌とともに焼却処分する。2)発病ほ場、又は育苗ほ場は次の薬剤で消毒し、更に夏期に太陽熱消毒を行う。
8. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
キルパー	I:8F	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
フロンサイド粉剤	F:29(C5)	は種又は定植前	1回	全面土壌混和
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫45日前まで	1回	灌注
アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫30日前まで	2回以内	土壌灌注
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫42日前まで	2回以内	土壌灌注
クロールピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
クロビクテープ	I:8B		1回	土壌くん蒸

<レタス> 腐敗病

1. 輸送中に切口から腐敗が進行することがあるので収穫株はよく選別して出荷する。
2. 育苗期間中は強い雨に当てない。
3. 本ぼは排水の良い場所を選ぶ。
4. 凍霜害やその他の傷を受けないよう管理する。
5. 発育初期の発病株は抜き取り焼きすてる。
6. オリゼメート粒剤は使用方法を誤ると葉が黄化したり、生育が遅延することがあるので注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
カップパーシン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
ジーファイン水和剤	F:NC・F:M01(M)	収穫前日まで	-	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫7日前まで	2回以内	散布
ドキリンフロアブル	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
オリゼメート粒剤	F:P02(P2)	定植時	1回	土壌混和

<レタス> ベと病

1. ベと病は育苗期の発病が伝染源になるので、育苗期の防除を徹底する。
2. 下葉の葉裏まで薬液が十分付着するように散布する。
3. 育苗中は過湿にならないように管理する。
4. 本ぼではマルチ栽培をする。
5. ビニール被覆後は過湿にならないように十分換気をはかる。
6. QoI剤（アミスター20フロアブル、メジャーフロアブル）は耐性菌の発生リスクが高いため、同一薬剤として扱い、連用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
エトフィンフロアブル	F:22(B3)	収穫前日まで	3回以内	散布
キノドー水和剤40	F:M01(M)	収穫21日前まで	5回以内	散布
ザンプロDMフロアブル	F:40(H5)・F:45(C8)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	収穫前日まで	2回以内	散布
ゾーベックエンテクタSE	F:21(C4)・F:49(F9)	収穫3日前まで	2回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ピシロックフロアブル	F:U17(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
プレビクールN液剤	F:28(F4)	収穫14日前まで	3回以内	散布
メジャーフロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ライメイフロアブル	F:21(C4)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ランマンフロアブル	F:21(C4)	収穫3日前まで	3回以内	散布
レーバースフロアブル	F:40(H5)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	定植前日～定植当日	1回	灌注

<非結球レタス> ナメクジ類

1. ナメクジ類・カタツムリ類の防除対策の項を参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
パダンSG水溶剤	I:14/F:U19(U)	収穫14日前まで	2回以内	散布
マイキラーL		収穫14日前まで	3回以内	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫14日前まで	2回以内	散布

<非結球レタス> アザミウマ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
モスピラン顆粒水溶剤	I:4A	収穫7日前まで	1回	散布

＜非結球レタス＞ アブラムシ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アドマイヤーフロアブル	I:4A	収穫7日前まで	2回以内	散布
ウララDF	I:29	収穫前日まで	2回以内	散布
セフィーナDC	I:9D	収穫7日前まで	2回以内	散布
ダントツ水溶剤	I:4A	収穫前日まで	2回以内	散布
モベントフロアブル	I:23	収穫14日前まで	3回以内	散布
モスピラン粒剤	I:4A	定植前日～定植当日	1回	株元散布
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
フーモン ※1		収穫前日まで	-	散布
ムシラップ ※1		収穫前日まで	-	散布
粘着くん液剤 ※1		収穫前日まで	-	散布
エコピタ液剤 ※2		収穫前日まで	-	散布
オレート液剤 ※3	H:0	発生初期～収穫前日ま	-	散布
サンクリスタル乳剤 ※4		収穫前日まで	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(いちごを除く)」の登録薬剤

※4 上位作物群「野菜類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)」の登録薬剤

＜非結球レタス＞ ハモグリハエ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	定植前まで	1回	灌注
プレバソンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注

＜非結球レタス＞ ナモグリハエ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフファーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
ダントツ水溶剤	I:4A	収穫前日まで	2回以内	散布
モスピラン粒剤	I:4A	定植前日～定植当日	1回	株元散布
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注

＜非結球レタス＞ ヨトウムシ

1. 幼虫の齢期が進むと薬剤に対する抵抗力が強くなるので早期発見、早期防除に努める。
2. ビニールの障壁を設けたり、溝を掘るなどして幼虫の侵入を防止する。
3. 老齢幼虫は捕殺に努める。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
スピノエース顆粒水和剤	I:5	収穫7日前まで	2回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布
エスマルクDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布
バシレックス水和剤 ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布
フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布
チューンアップ顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日 まで)	-	散布

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

＜非結球レタス＞ ハスモンヨトウ

1. ハスモンヨトウは9月～10月に多発する。
2. 幼虫の齢期が進むと薬剤に対する抵抗力が強くなるので早期発見、早期防除に努める。
3. ビニールの障壁を設けたり、溝を掘るなどして幼虫の侵入を防止する。
4. 老齢幼虫は捕殺に努める。
5. 黄色灯の利用により、発生を軽減できる。Web版のPDFファイル（物理的防除法）を参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフファーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布

カスケード乳剤	I:15	収穫3日前まで	3回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
ファルコンフロアブル	I:18	収穫3日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
バシレックス水和剤 ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
デルフィン顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

<非結球レタス> ネクリムシ類

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダイアジノン粒剤5	I:1B	は種時又は定植時	2回以内	全面土壌混和又は作条土壌混和

<非結球レタス> オオタバコガ

1. オオタバコガの成虫は9月下旬～11月下旬に多発する。

2. 幼虫の齢期が進むと殺虫効果が落ちるので、老熟幼虫は補殺する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフーム乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
カスケード乳剤	I:15	収穫3日前まで	3回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	収穫7日前まで	2回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
トルネードエースDF	I:22A	収穫7日前まで	2回以内	散布
ファルコンフロアブル	I:18	収穫3日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫前日まで	2回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
プレバソンフロアブル5	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
プロフレアSC ※1	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
エコマスターBT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
エスマルクDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
トアローフロアブルCT ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
フローバックDF ※2	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
チューンアップ顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
デルフィン顆粒水和剤 ※3	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

※1 上位作物群「レタス類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

<非結球レタス> 菌核病

1. トンネル栽培では換気に留意し、ビニールマルチをする。

2. 冬どりレタスでは12月～1月に発生が多い。

3. 発病株は早期発見に努め、抜き取り処分する。

4. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫21日前まで	2回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布

バレード20フロアブル	F:7(C2)	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
-------------	---------	------------	----	----

<非結球レタス> すそ枯病

1. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布
フロンサイド粉剤	F:29(C5)	は種又は定植前	1回	全面土壌混和
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する

<非結球レタス> 軟腐病

1. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫30日前まで	5回以内	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫14日前まで	2回以内	散布
ドキリンフロアブル	F:M01(M)	収穫30日前まで	5回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫3日前まで	3回以内	散布
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ICボルドー66D ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

<非結球レタス> 根腐病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する

<非結球レタス> 灰色かび病

1. ビニール被覆後は過湿にならないように換気を十分行い病葉をつみとるか、病株を早めに抜き取る。

2. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
アミスター20フロア	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	収穫21日前まで	2回以内	散布
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11(C3)	収穫14日前まで	3回以内	散布

<非結球レタス> 斑点細菌病

1. 育苗期間中は強い雨に当たらない。

2. 本ばは排水の良い場所を選ぶ。

3. 凍霜害やその他の傷を受けないよう管理する。

4. 発育初期の発病株は抜き取り焼きすてる。

5. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
カップパーシン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
カセット水和剤	F:24(D3)・F:31(A4)	収穫14日前まで	2回以内	散布
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫30日前まで	5回以内	散布
ドイツボルドーA	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー	F:M01(M)	-	-	散布
オリゼメート粒剤	F:P02(P2)	定植時	1回	土壌混和
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

<非結球レタス> 腐敗病

1. 輸送中に切口から腐敗が進行することがあるので収穫株はよく選別して出荷する。

2. 育苗期間中は強い雨に当たらない。

3. 本ばは排水の良い場所を選ぶ。

4. 凍霜害やその他の傷を受けないよう管理する。

5. 発育初期の発病株は抜き取り焼きすてる。

6. 同じ薬剤でもレタスの登録と使用可能時期の収穫前日数が異なる場合があるため、注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
Zボルドー	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布

カップーシン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫7日前まで	4回以内	散布
キノドーフロアブル	F:M01(M)	収穫30日前まで	5回以内	散布
ジーファイン水和剤	F:NC・F:M01(M)	収穫前日まで	-	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫14日前まで	2回以内	散布
ドイツボルドーA	F:M01(M)	-	-	散布
ドキリンフロアブル	F:M01(M)	収穫30日前まで	5回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ボルドー	F:M01(M)	-	-	散布
オリゼメート粒剤	F:P02(P2)	定植時	1回	土壌混和

＜非結球レタス＞ ペト病

1. ペト病は育苗期の発病が伝染源になるので、育苗期の防除を徹底する。
2. 下葉の葉裏まで薬液が十分付着するように散布する。
3. 育苗中は過湿にならないように管理する。
4. 本ぼではマルチ栽培をする。
5. ビニール被覆後は過湿にならないように十分換気をはかる。
6. QoI剤（アミスター20フロアブル、メジャーフロアブル）は耐性菌の発生リスクが高いため、同一薬剤として扱い、連用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫7日前まで	4回以内	散布
エトフィンフロアブル	F:22(B3)	収穫前日まで	3回以内	散布
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	収穫前日まで	2回以内	散布
ゾーバックエンテクタSE	F:21(C4)	収穫3日前まで	2回以内	散布
	F:49(F9)			
ピシロックフロアブル	F:U17(U)	収穫前日まで	3回以内	散布
メジャーフロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ライメイフロアブル	F:21(C4)	収穫3日前まで	3回以内	散布
ランマンフロアブル	F:21(C4)	収穫3日前まで	3回以内	散布
レーバスフロアブル	F:40(H5)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ジャストフィットフロアブル	F:40(H5)・F:43(B5)	定植前日～定植当日	1回	灌注

＜非結球レタス(サラダ菜を除く)＞ 根腐病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
クロピク80	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドジョウピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドロクロール	I:8B		1回	土壌くん蒸

＜非結球レタス(サラダ菜を除く)＞ ビッグ・ヘイン病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
クロピク80	I:8B		1回	土壌くん蒸
クロピクテープ	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドジョウピクリン	I:8B		1回	土壌くん蒸
ドロクロール	I:8B		1回	土壌くん蒸